

| | | | | | | | |
|--------------------|--|---|----|-----|---------------|--------|----|
| 科目名 Course Name | 発達と老化の理解Ⅱ Development and Aging Ⅱ | | | | ナンバリング No. | J2-014 | |
| 年次 | 1年 | 期別 | 後期 | 単位数 | 2 | 授業形態 | 講義 |
| 担当者氏名 | 和田 晴美 | | | | | | |
| 連絡方法 | C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択(介護福祉士養成課程必修) | | | | | | |
| 関連 DP | DP2,DP5 | | | | | | |
| 授業の概要と到達目標 | <p>高齢者の加齢に伴う心身の状況の変化と日常生活に及ぼす影響についての基礎的な知識の習得を図り、高齢者に多い疾患について概要、原因、症状と治療、および介護上の留意点を学ぶ。</p> <p>①高齢者に多い疾病の概要、原因、症状、治療、介護上の留意点について説明することができるようにする。</p> <p>②望ましい保健医療との連携について自分の意見を述べるようにする。</p> <p>③高齢者の生活課題について説明できるようにする。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 講義が中心となるが、ディスカッションなどを取り入れ他者の意見を聞いたり、自身で考えたりする授業とする。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | | | | | | |
| | L02 | 加齢に伴う心身状況の変化などについて基本的事柄について説明できる。 | | | | | |
| | L03 | 高齢者の疾病と多い疾患についてまとめることができ、積極的に課題に取り組むことができる。 | | | | | |
| | L04 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 小テストは時間内で解答、解説を実施する。 | | | | | | |
| 教科書/参考図書 | 最新・介護福祉士養成講座 第12巻 第2版「発達と老化の理解」中央法規出版 | | | | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | <p>目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。ディスカッションには積極的に臨んでほしい。</p> <p>遅刻厳禁。飲み物等持ち込み禁止。やむを得ず欠席する場合は必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。</p> <p>事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。</p> | | | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|---------------|--|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | 教材を常に準備して臨んでいる。ディスカッションの場面では、積極的に意見を述べている。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問している。 | | 10 | | |
| レポート/作品 発表 | | | | | |
| 小テスト | 8回目に小テストを実施。健康長寿、高齢者に多い疾患(脳・神経疾患、骨格系・筋系疾患、皮膚・感覚疾患、呼吸器疾患)について理解できている。 | | 30 | | |
| 試験 | 高齢者と健康、健康長寿、高齢者の症状の特徴、高齢者に多い疾患と生活上の留意点、保健医療職との連携について理解できている。 | | | 60 | |
| その他 | | | | | |
| 合計 | | | 40 | 60 | |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|---|
| 1 | 授業内容 | ガイダンス 前期の復習 高齢者と健康① 健康長寿に向けての健康 |
| | 事前・事後学習 | 健康の定義を考え書き表す。 |
| 2 | 授業内容 | 高齢者と健康② 健康長寿、サクセスフルエイジング、アクティブエイジングなど グループディスカッション |
| | 事前・事後学習 | 健康日本21について調べノートにまとめる。 |
| 3 | 授業内容 | 高齢者の症状・疾患の特徴、廃用症候群、老年症候群 |
| | 事前・事後学習 | 自分の老後のありたい姿を想像し書き表す。 |
| 4 | 授業内容 | 老化に伴うこころとからだの変化と生活、留意点①骨格系・筋系(骨粗鬆症、骨折) |
| | 事前・事後学習 | 高齢者に多い骨関節疾患について、概要、原因、症状、治療をノートにまとめる。 |
| 5 | 授業内容 | 老化に伴うこころとからだの変化と生活、留意点②骨格系・筋系(変形性関節症、関節リウマチ) |
| | 事前・事後学習 | 高齢者に多い骨関節疾患について、概要、原因、症状、治療をノートにまとめる |
| 6 | 授業内容 | 老化に伴うこころとからだの変化と生活、留意点③ 脳・神経系(パーキンソン病、脳血管疾患) |
| | 事前・事後学習 | 脳・神経系疾患について、概要、原因、症状、治療をノートにまとめる。 |
| 7 | 授業内容 | 老化に伴うこころとからだの変化と生活、留意点④ 皮膚・感覚器系(目の疾患、耳の疾患、皮膚疾患) |
| | 事前・事後学習 | 皮膚・感覚器系疾患について、概要、原因、症状、治療をノートにまとめる。 |
| 8 | 授業内容 | 【小テスト 解答・解説】 老化に伴うこころとからだの変化と生活、留意点⑤ 循環器系(高血圧症、虚血性心疾患、不整脈) |
| | 事前・事後学習 | 小テストの範囲(第1回～第7回)の勉強。 循環器系疾患について、概要、原因、症状、治療をノートにまとめる。 |
| 9 | 授業内容 | 老化に伴うこころとからだの変化と生活、留意点⑥ 呼吸器系(肺炎、結核、喘息) |
| | 事前・事後学習 | 呼吸器系疾患について、概要、原因、症状、治療をノートにまとめる。 |
| 10 | 授業内容 | 老化に伴うこころとからだの変化と生活、留意点⑦ 消化器系(消化性潰瘍、逆流性食道炎、肝硬変) |
| | 事前・事後学習 | 消化器系疾患について、概要、原因、症状、治療をノートにまとめる。 |
| 11 | 授業内容 | 老化に伴うこころとからだの変化と生活、留意点⑧ 腎・泌尿器系(慢性腎不全、尿路感染症、前立腺疾患) |
| | 事前・事後学習 | 腎・泌尿器系疾患について、概要、原因、症状、治療をノートにまとめる。 |
| 12 | 授業内容 | 老化に伴うこころとからだの変化と生活、留意点⑨ 内分泌系・代謝系(糖尿病、脂質異常症、痛風) |
| | 事前・事後学習 | 内分泌・代謝系疾患について、概要、原因、症状、治療をノートにまとめる。 |
| 13 | 授業内容 | 老化に伴うこころとからだの変化と生活、留意点⑩ 歯・口腔疾患(虫歯、歯周病、ドライマウス) |
| | 事前・事後学習 | 歯・口腔疾患について、概要、原因、症状、治療をノートにまとめる。 |
| 14 | 授業内容 | 老化に伴うこころとからだの変化と生活、留意点⑪ 悪性新生物 精神疾患(うつ病、統合失調症) |
| | 事前・事後学習 | 悪性新生物、精神疾患について、概要、原因、症状、治療をノートにまとめる。 |
| 15 | 授業内容 | 老化に伴うこころとからだの変化と生活、留意点⑫その他(熱中症、脱水) 保健医療職との連携 |
| | 事前・事後学習 | テキスト P292、293 の問題を解く。 |